

# 話してみよう韓国語 福島大会2010実施要項

I 日時： 2010年2月7日（日）

II 場所：

福島市市民会館（住所：福島市霞町1番52号）地図

アクセス：福島交通バス市内循環「附属小学校前」停留所より徒歩1分、福島駅から徒歩20分

III 出場部門

1 中高生の部 2部門

(1) スキット部門（必須部門）2人1組で挑戦します。

制限時間3分、指定の台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末変えたり、文章を一部追加することができます。（本文の3分の1程度まで）。また、台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

指定台本：韓国文化院ホームページより「ビビンバとカレー」（別紙）

**出場組数 1組**

**出場者(組名)：児玉若菜、熊田里佳**

(2) K-POP歌詞暗唱部門（独自部門）

個人参加の部門です。制限時間2分。指定したK-POPの歌詞を暗記します。

ステージにおいて自分なりの表現で暗唱しながら発表していただきますが、イントネーションを含む発音が審査の項目になっているため、歌うことはできません。発表する際、歌詞を変更することは一切できません。また、台本を読み上げることもできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り程度とします。事前に小道具の内容をお知らせください。なお、BGMを流すことができます。

☆ 指定の歌詞 百万本のバラ : 백만송이 장미 (別紙)

### 応募者がいないため今回実施しません

#### 2 一般の部 3 部門

##### (1) スキット部門 (必須部門) 2 人 1 組で挑戦します。

制限時間 3 分、指定台本を暗記し、2 人 1 組で韓国語の発音や表現力を競います。1 人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加することができます。(本文の 3 分の 1 程度まで)。

また、台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に、小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

指定台本：韓国文化院ホームページより「日本への旅行」(別紙)

**出場組数 7 組**

**出場者 (組名) :** 吉田真実子、根本ひろみ  
鈴木光子、芦野恵美  
村上奈津子、津田アケミ  
佐藤郁代、斉藤恵子  
岡島フミ子、松本仁子  
五十嵐有加子、安藤雄一  
菅野智子、石川美智子

##### (2) 創作スキット部門 (必須部門)

指定された場面で 2 人以上が登場するスキット台本を創作し、その台本を 2 人 1 組で演じます。韓国語の発音や表現力とともに創作力を競います。

- 1) 指定場面：病院「クリニック、診療所などを含む病院での会話場面」
- 2) 登場人物：2 名以上 (1 人が 2 役以上を演じてもいいですが、出場者は 2 名とします。)

医者と患者、医者同士、患者同士、医者と看護師、看護師と患者、看護師同士などご自由に登場人物を設定し、2 分 30 秒以上 3 分以内のスキットを創作してください。

※ 台本の創作例はスキット部門の台本を参考にしてください。

**出場組数 5 組**

出場者（組名）： 後藤敦子、鈴木里美  
谷口良子、木町さつき  
伊藤悦子、藤井明美  
今井伸江、渡部美穂  
佐藤早苗、亀岡京子

(3) スピーチ部門（独自部門）

自分でスピーチ原稿を作成、暗記し、制限時間4分以内で発表します。  
韓国との交流促進に資する内容の発表であることが前提となります。  
1人での参加になります。

出場者数 7名

出場者名： 渡部美姫子  
大和田 猛  
皆 川 猛  
佐藤明日香  
落合 ふみ  
青木 一平  
宗像 友紀

#### IV 応募資格

- 1 全ての部門に共通（各部門の参加資格も合わせてご覧ください。）
  - (1) 韓国語を母国語としない中学生以上の者、国籍は問いません。
  - (2) 応募時点から過去1年以内に、他の韓国語スピーチコンテストで本選に入選したことがない者、過去のスキット部門入賞者は、本大会の一般の部の創作スキット部門に限り応募できます。
- 2 中高生の部  
次の基準を超える中高生は、一般部門に参加してください。
  - (1) 応募時に日本の中学校・高等学校等で外国語として韓国語を学習しており、2月7日までの韓国語の履修（見込み）単位数の合計が4単位以下で、20歳未満の者。
  - (2) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が1か月以内の者。
  - (3) 独習している中高生は、学習歴が（1）に準ずる者。
- 3 一般の部
  - (1) 中高生の部参加資格をオーバーする中高生：以下ご覧ください。
    - (イ) 2月7日までの履修（見込み）単位数の合計が5単位以上の者
    - (ウ) 2月7日に、満20歳以上の者

- (2) 大学生：応募時に日本にある大学・短大・専門学校等で外国語として韓国語を学習しており、2月7日までの韓国語の履修（見込み）単位数の合計が4単位以下の者
- (3) 一般：応募時に韓国語学習歴が2年以内で2月7日までの学習時間が100時間を超えない者。
- (4) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における歳かつ経験が1か月以内の者。
- (5) 独習者は上の要件に準じます。

※韓国語能力検定試験初級、「ハングル」能力検定試験4級、または5級程度の学習者を想定しています。

4 下記部門の応募資格は次のとおりです。

(1) 創作スキット部門

- 1) 韓国語の母語話者でない者
- 2) 中級以上の学習者も参加できます。

(2) スピーチ部門

- 1) 韓国語を母語としない中学生以上の者。国籍は問いません。
- 2) 応募時点から過去1年以内に、他の韓国語スピーチコンテストの本選で入賞したことがない者とします。

## V 応募方法

中高生の部2部門については別紙申込書を「話してみよう韓国語」福島大会事務局まで郵送してください。一度提出された書類等は一切返却できませんのでご了承ください。

1 応募受付期間

平成21年12月21日（月）～平成22年1月21日（木）（必着）

2 応募先（主催・問い合わせ先）

**ふくかねつと事務局**

郵便番号：960-2261

住 所：福島市町庭坂字荒町59-1

電話番号：024-591-4892

FAX番号：024-591-4020

E-mail：[fukukannet4892@bz01.plala.or.jp](mailto:fukukannet4892@bz01.plala.or.jp)

URL：<http://kan-net.web.infoseek.co.jp/>

(1) 提出書類

- ① 申込書：全部門所定の申込書を期日までにお送りください。

- ② 創作スキット部門、スピーチ部門は発表原稿及び日本語訳を1月21日までに提出してください。

(2) 注意事項

- ① 2名で参加の場合は、同一の封筒等に入れてお申し込みください。  
② 複数部門の申し込みはできません。  
③ 申込後に参加者を交換することはできません。  
④ 創作原稿のある部門は募集締め切り後に内容の変更はできません。  
⑤ BGMを流す場合、BGMは各自ご用意ください。

VI 審査基準

※ ( )内の数字は100点中の配点です。

1 中高生の部

(1) スキット部門

発音(40)ー正確さ、イントネーション、聞き取りやすさ；  
総合表現力(30)ー話す速度、強弱、身振り手振り、感情表現  
などアドリブを含む；暗唱(10)ー原稿を見ないで暗唱；制限  
時間以内(10)；質疑応答(10)

(2) K-POP暗唱部門

発音(40)ー正確さ、イントネーション、聞き取りやすさ；  
総合表現力(30)ー話す速度、強弱、身振り手振り、感情表現  
など、アドリブを含む；暗唱(10)ー原稿を見ないで暗唱；制  
限時間以内(10)；質疑応答(10)

2 一般の部

(1) スキット部門

発音(40)ー正確さ、イントネーション、聞き取りやすさ；  
総合表現力(30)ー話す速度、強弱、身振り手振り、感情表現な  
どアドリブを含む；暗唱(10)ー原稿を見ないで暗唱；制限時  
間(10)；質疑応答(10)

(2) 創作スキット部門

発音・表現(30)、-正確さ、イントネーション、聞き取り、話  
す速度、強弱、感情表現など；文章力・構成(50)ー内容、語  
彙的な問題、誤用、起承転結など；暗唱(10)ー原稿を見ない  
で暗唱；質疑応答(10)

(3) スピーチ部門

発音(20)ー内容、談話構成； 制限時間(20)、文法語法  
(20)、流暢さ(20)、発表態度(20)ー落ち着き、感情表

## 現、声量、暗唱等

### Ⅶ 審査員

ちよん・ひょんしる（NPO法人ふくかねつと代表）

カン・ギホン（韓国文化院長）

ユン・キョンニョル（福島大学准教授）

田代博信（山形県立南陽高等学校教諭）

### Ⅷ 参加者数と賞・賞品

#### （1）中高生の部

- |               |       |
|---------------|-------|
| ① スキット部門      | 1組    |
| ② K-POP歌詞暗唱部門 | 参加者なし |
- 参加部門から削除します。

#### （2）一般の部

- |            |    |
|------------|----|
| ① スキット部門   | 7組 |
| ② 創作スキット部門 | 5組 |
| ③ スピーチ部門   | 7人 |

#### （3）賞と賞品

##### ① スキット部門

高校生の応募がスキット部門 1組なので、一般の部のスキット部門と一緒に審査することにします。高校生の組が一位の場合は最優秀賞としてクムホ・アジアナ杯本選出場権を賞品とします。一般の方が一位の場合は、最優秀賞として韓国往復航空券＋短期語学（初級学習者向け）留学費免除（2名分）とします。他に優秀賞を1組（2名分）韓国伝統工芸品、スッカラ賞1組（2名分）スッカラ年間購読権利があります。また以上までに入賞しない組には図書券3,000円を賞品とします。

##### ② 創作スキット部門

最優秀賞1組を韓国への旅（2名分）、優秀賞1組（2名分）韓国伝統工芸品、スッカラ1組（2名分）スッカラ年間購読権利とし、以上までに入賞しない場合は図書券3000円分を賞品とします。

スキット部門並びに創作スキットの2つの部門の中から1組（2名分）を韓国文化院長賞として選定し、韓国伝統工芸品を賞品とします。

##### ③ スピーチ部門

最優秀賞（ふくかねつと賞）1名 商品券2万円分、優秀賞1名 商品券1万円、敢闘賞3名コスモス朝和辞典と「2010版ハングル月曆」、その他2名「2010版ハングル月曆」

部門名 賞の名称	中高生スキット 一般スキット	一般 創作スキット	一般 スピーチ
最優秀賞 1組	高校生が一位の場合 クムホ・アジアナ杯本戦出場権 一般の方の場合は 韓国往復券+短期語学(初級学習者 向け) いずれも2名分	韓国への旅 2名分	(ふくかねっと 賞) 1組 商品券 2万円分
優秀賞 1組	韓国伝統工芸品 2名分	韓国伝統工芸品 2名分	商品券 1万円分
スッカラ賞 1組	スッカラ年間購読権利 2名分	スッカラ年間購読 権利 2名分	敢闘賞 コスモス朝和辞典 と「2010版ハン グル月暦」
文化院長賞 1組	韓国伝統工芸品 2名分		
その他	図書券		「2010版ハン グル月暦」

#### IX 主催・問い合わせ先

ふくかねっと事務局

郵便番号：960-2261

住 所：福島市町庭坂字荒町59-1

電話番号：024-591-4892

FAX番号：024-591-4020

E-mail：[fukukannet4892@bz01.plala.or.jp](mailto:fukukannet4892@bz01.plala.or.jp)

URL：<http://kan-net.web.infoseek.co.jp/>

#### X 共 催

大韓民国 文化体育観光部、駐日大韓民国大使館 韓国文化院、クアホ・ア  
シアナ文化財団

#### XI 特別協賛

ASIANA AIRLINES

白水社（コスモス朝和辞典）